

## 避難者受け入れ登録について

今年も下記のとおり秋の避難訓練を実施します。

### 第4回 要援護者支援避難訓練

11月20日(日)9:00~12:00 小山台遊園・氷川台農園・氷川台会館  
 9:00 発災・9:30 開会(訓練開始)・12:00 閉会(訓練終了)

4月に発生した想定外の「熊本地震」を教訓に、「防災対策を根本的に見直す」という原点に戻り、氷川台自治会の地域特性(高齢化率33%、堅固な地盤、戸建て住宅、高台、地域コミュニティー等)を加味した新たな防災対策を講じて“誰もが安心して住める氷川台”を目指します。

市指定避難所(学芸大学支援学校)には多くの知らない人が押し寄せて来ます。阪神・淡路大震災、東日本大震災、長野北部地震、熊本地震等、災害が起きる毎に避難所運営の課題(人権問題、高齢者・障がい者対策等)が噴出していますが解決策はありません。解決策は、地域住民が個々のニーズに応じた避難所運営を自主的に行うことです。自分がどうやって助かるか、どうやって隣人を助けるか、何が出来るか、常日頃からの「つながり」が災害時の大きな力になります。

自治会では、災害時支援協定を結んでいるライフパートナーこぶし・聖グレゴリオの家を災害弱者のための2次避難所としていますが、基本は「支え合い・助け合い」に基づく「在宅避難」なのです。

今回実施する家具転倒防止器具・感震ブレーカー(住宅火災延焼の火元にならないために)・家庭用火災警報器設置推進運動も「在宅避難体制の構築」へ向けたステップです。

また新たな取り組みとして、会員による「避難者受け入れ」という方法を取り入れたいと思います。これは、災害時に家屋損壊やライフライン停止等で自宅に住めなくなった会員を、自宅居室に余裕のある会員が一時的に受け入れるというものです。

災害時避難体制構築へ向けた主旨をご理解いただき、ご協力いただける方は下記へご記入のうえ、避難訓練当日に会場受付にお渡しく下さい。

「避難者受け入れ」に協力し、登録します

組 班・氏名 \_\_\_\_\_

※下記にご記入ください(目安です)

受け入れ 可能人数	男女別 ○つけ	年齢別 ○つけ	使用可能 部屋数・広さ	バリア フリー	受け入れ 可能日数	寝具	寝具の提供のみ 協力
名	男性	高齢者	部屋	あり	日	あり	布団 組
	女性	18~60歳		なし		なし	毛布 枚
	不問	子供	合計				
		不問	畳				

※避難訓練当日に会場受付にお渡しく下さるか、組役員へお渡しく下さい。